

当院検査部の ICT 活動への取り組み

◎井上 真太郎¹⁾、菅野 直美¹⁾、河野 賢二¹⁾、畑田 祐也¹⁾、縄田 勇貴¹⁾、中原 歩未¹⁾、新田 誠¹⁾
福岡県済生会 二日市病院¹⁾

(はじめに)

感染防止対策チーム(以下 ICT)は感染防止対策に関する様々な活動を行う他職種から構成されている。当院でも感染及び抗菌薬カンファレンスを定期的に行っている。当院は細菌室がなく一部の検査以外外部委託先(以後外注先)と密接に連携し、感染防御を行っている。

(活動内容)

1. 検体、伝票記載、細菌システム管理、指導
 - (1) 適切な検体採取、提出方法、採取部位の確認
2. 発生報告
 - (1) ICT で取り決めている監視菌及び無菌的検体からの検出を抽出し発生報告書を作成
 - (2) 連絡主治医、病棟責任者へ連絡、カルテ記載。また、主治医不在時は診療科の上級医に連絡
3. 感染情報シート作成
週報を編集し、病棟ごとの検出菌、薬剤耐性菌の検査材料ごとの発生件数を職員に周知指導。
4. 感染制御会議

毎週月曜日に ICT メンバーで実施。検査部は薬剤耐性菌が検出された対象患者の必要事項(菌量、検査材料、炎症等)の報告

5. JANIS へのデータ報告

外注先が作成した集計データ送信 JANIS の情報をもとに全国、地域、当院の感染状況の比較、把握。

7. アンチバイオグラム

- (1) 外注先が作成した年報を編集し院内に周知

8. 環境ラウンド

- (1) 感染物等の分別の確認
- (2) 個室管理患者の感染対策など

(まとめ)

外注先の集計データを活用し、院内での発生報告の手順をマニュアル化し報告することで迅速な抗菌薬の決定に貢献し院内の薬剤耐性菌の発生状況を周知することで、院内アウトブレイクの防止に努めることが出来た。

連絡先 092-923-1551 (内線 2223)